

2021年3月期 第3四半期 連結決算概要

キオクシアホールディングス株式会社

2021年2月12日

注意事項

2017年4月1日に株式会社東芝からメモリ事業を会社分割し（旧）東芝メモリ株式会社（以下「旧TMC」）が発足しました。2018年6月1日にBain Capitalを軸とする企業コンソーシアムにより組成される株式会社Pangea（以下「Pangea」または「新TMC」）が旧TMCを買収したのち、2018年8月1日に新TMCが旧TMCを吸収合併し、社名は東芝メモリ株式会社となりました。また、2019年3月1日に単独株式移転により東芝メモリ株式会社を完全子会社とする東芝メモリホールディングス株式会社（以下、「TMCHD」）を設立しました。2019年10月1日に当社はキオクシアホールディングス株式会社に社名変更しました。

将来に関する記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定および所信に基づくものであり、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、半導体業界における激しい競争等がありますが、これらに限られません。）により、実際の結果とは異なる可能性があるのでご承知おきください。また、当社は本資料上の将来予想に関する記述について更新する義務を負うものではありません。

本資料に記載されるメモリ市場の見通し等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

なお、本資料は、当社の2021年3月期第3四半期連結決算概要の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本文に掲載の製品名やサービス名は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

業績概要¹

[億円]	21年3月期 2Q	21年3月期 3Q	対前四半期
売上高	3,291	2,872	▲419
営業利益	198	▲77	▲275
マージン	6%	▲3%	▲9pt
当期純利益	80	▲132	▲212
マージン	2%	▲5%	▲7pt

補足情報

減価償却費 ²	1,062	1,074	+12
PPA影響 ³	▲279	▲276	+3
法人税等費用	25	▲59	▲84

1. 連結・IFRSベース
2. 営業利益に減価償却費を加算したものが、当社グループのキャッシュベースの収益性を示す指標であるEBITDAとなります。当第3四半期におけるEBITDAは、営業利益▲77億円に減価償却費1,074億円を加算した997億円となりました。
3. Pangeaによる旧TMCの買収と台湾・LITE-ONテクノロジー社のSSD事業買収に伴い発生したPPAによる営業利益への影響額です。営業利益からPPA影響を除外したもの

が、当社グループの恒常的な経営成績を示すNon-GAAP営業利益となります。当第3四半期におけるNon-GAAP営業利益は、営業利益▲77億円からPPA影響▲276億円を除外した199億円となりました。同様に、Non-GAAP当期純利益は、当期純利益▲132億円からPPA影響▲276億円を除外した金額から税金調整額を差し引いて60億円となりました。

ハイライト (1/2)

足元の実績及び動向

	21年3月期 2Q	21年3月期 3Q
出荷量 ^{1,2} (QoQ)	20%台半ばの 増加	1桁%台前半の 増加
販売単価 ¹ (¥, QoQ)	1桁%台後半の 下落	1桁%台後半の 下落

1. 記憶容量ベース

2. Solid State Storage Technology Corporation社のSSDに
使用された第三者のNAND型フラッシュメモリを含まず

- 第3四半期連結会計期間の売上高は市場に沿った伸長を維持、前年同期比で25%の伸びを記録
- スマートフォン向け出荷量は高水準を維持するも前四半期対比では減少、エンタープライズ向けも弱含んだものの、ゲーム機向け、PC向け、データセンター向け出荷量が堅調に推移し、総出荷量は前四半期対比でやや増加
- NAND型フラッシュメモリ市場の需給バランスが緩んだことにより、販売単価は前四半期に引き続き下落

北上工場の敷地拡張

- 新製造棟（K2）の建設に備え工場に隣接した土地を取得する方針を決定、2021年春から整備工事に着手予定

市場動向及び見通し

- 新型コロナウイルスの感染再拡大や米中貿易摩擦によってフラッシュメモリの需給バランスは足元で緩んでいるが、データセンターSSD、クライアントSSD及びスマートフォンの需要は引き続き堅調に推移している他、エンタープライズSSDの需要も徐々に回復する見通しであり、今年後半にかけて市況は改善するという見方が一般的
- NAND市場の中長期的な成長トレンドについての市場の見方に大きな変化はみられていない
- 製造コストを過去のトレンドに沿って低減するべく取り組み、短期的な下振れ局面に対しては販管費のコントロールに努める

KIOXIA